

令和6年度多職種連携研修会アンケート結果

研修会開催日：令和6年11月5日（火）18：30～20：20

参加者数：104名

アンケート回収数：104名（回収率 100%）

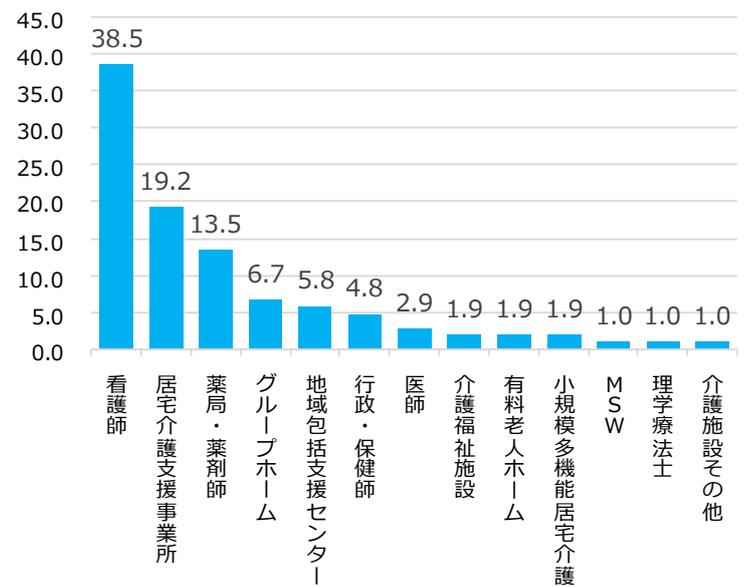
【アンケート結果】

1 あなた自身について

(1) 職種・所属（人）

医師	3
看護師	40
薬局・薬剤師	14
MSW	1
理学療法士	1
行政・保健師	5
介護保険施設	2
認知症対応型共同生活介護	7
有料老人ホーム	2
小規模多機能型居宅介護	2
居宅介護支援事業所	20
地域包括支援センター	6
介護施設その他	1

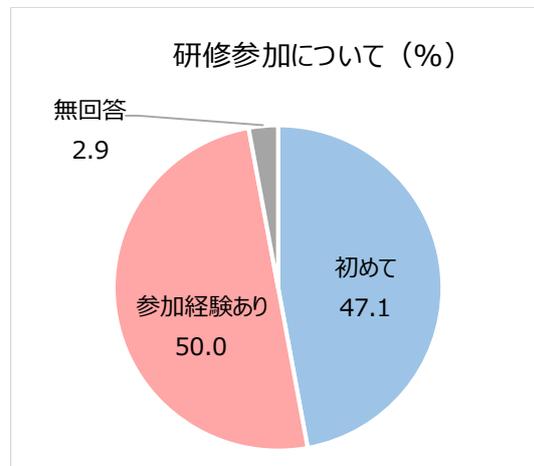
参加者の職種・所属（%）



(2) 研修会参加について（人）

参加は初めて	49
過去にも参加経験あり	52
無回答	3

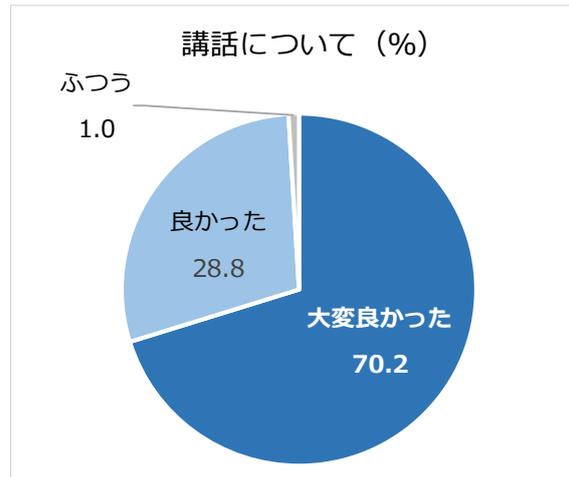
研修参加について（%）



2 本日の研修について

(1) 講話について (人)

大変良かった	73
良かった	30
ふつう	1



○「大変良かった」「良かった」理由 (一部抜粋)

【わかりやすかった・気づき・考えるきっかけになった・活かしていける】

- ・ 具体的に必要なことと、準備しておかないといけないことがわかりやすかった。(10)
- ・ 分かりやすく、災害予防期の取り組み備えが大切だと改めて実感したので事業所で統一して見直したいと思います。
- ・ 項目ごとに1スライドでまとめてあり後日見直すのも簡単にできそうであった。
- ・ 災害時に行きうる事、それに対する備える、考えるきっかけになった。(3)
- ・ 在宅での現状をふまえ、そなえておくことを学べた。具体的でとてもわかりやすく、すぐに業務にいかせる。
- ・ 実際に業務にいかせると思った (4)

【連携の重要性】

- ・ 平時の連携が有事に生きると思いました (5)
- ・ 院内でしか災害時訓練していなかったなので、地域で多職種で災害時の対応連携について考える機会となりました。
- ・ 地域にある病院、施設、薬局、他がどのようなものがあり、どのような連携が必要か考える機会となった。
- ・ それぞれの立場で課題となることが違うことがよくわかった。
- ・ 今後の連携のために勉強になった
- ・ 連携をどの様に効率よくできるか課題
- ・ 協力医療機関との連携はとれていると思ってます。災害時は身動きをとるのは難しいので今後検討が必要ではあると思いました。
- ・ 各場面での動きも立場によって違う。必要とされる内容もちがう。お互いに申しでてみても OK では？

【日頃の備え】

- ・ 日頃の家族指導や、事業所内での訓練がいかに大切か分かった。(3)
- ・ 準備しておくこと、考えておくべきことが再確認できました。不足部分に気づけました。

- ・ 各条件によって準備するものなど知ることができた
- ・ 身近でいつ災害が起こるかかわからないものであり、備えるためにとっても興味深かった
- ・ 自分ができる災害予防期として何ができるかをもう一度考え、実行していきたいと思いました。
- ・ 最近災害が多くなってきているため災害について起こりうることや備えについて再認識することができた。
- ・ 現状と何に備えればいいのか整理できた。

【BCP・個別避難計画・関連法について】

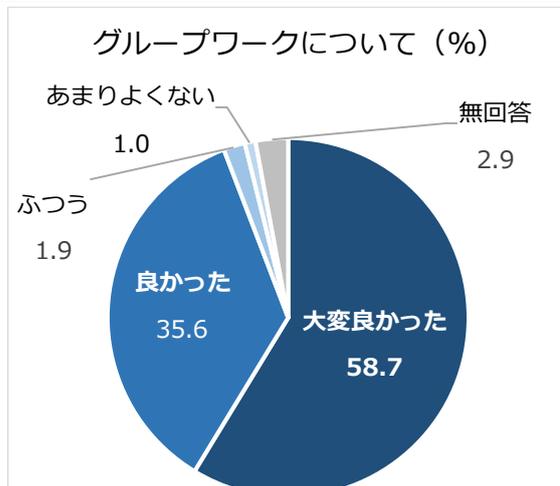
- ・ 災害時の連携やどういうしくみ、法があるか知ることができたため
- ・ BCPの大切さを改めて感じました。
- ・ BCP以外の対応も考えないといけない（医療対応も）
- ・ BCPの見直しに使える！データ多でよかった
- ・ 名簿等の存在は知らなかった。新しい知識を身に着ける事ができた。
- ・ 大崎市に住んでいるが、個別避難計画の作成を知らなかったため、今後利用者にも情報提供することができる。

【その他】

- ・ 医療の方の意見がきこえてよかった
- ・ 短い時間となってしまったが医療面での講話がメインと思われるが学べて良かった
- ・ 内容が難しかったですが、その職種によって色々な考え方があったからです
- ・ 在宅地域における対応、援助どうしていくか学べた。
- ・ いろいろなことを想定してのお話が聞けて良かった。
- ・ 全体数が多く、一緒に考えられたことが良かった。
- ・ 災害を想定してのお話しや、在宅での避難について、利用者さんの本音をきくことができた。
- ・ 東日本大震災を思い出しました。老健施設に勤務していましたが、28日間施設に寝泊まりし、医・CM・食事・送迎全て行っていました。大変だったのが、電気の確保ができずHOTの人を病院に搬送しました。
- ・ 自事業所で災害が発生したイメージをしながら聞くことができた。
- ・ 医療だけでなく介護をとりまく状況を知ることができた。

(2) グループワークについて (人)

大変良かった	61
良かった	37
ふつう	2
あまりよくない	1



○「大変良かった」「良かった」理由（一部抜粋）

- ・ いろいろな職種の人と話しが出来たので様々な意見を知ることが出来た。
- ・ 病院の医師，ケアマネ，訪問リハ，訪看，それぞれの取り組みや課題を知ることができた。
- ・ 他職種の方の意見を聞く事ができ，地域での災害時の対応等知る事ができ良かった。
- ・ もっと時間がほしいです。各職種で状況がちがすぎて、各職場の流れもきいておきたい。
- ・ それぞれの職種の課題はとても参考になったし励まされた。
- ・ いろんなシチュエーションでグループワークできる時間があるといい。

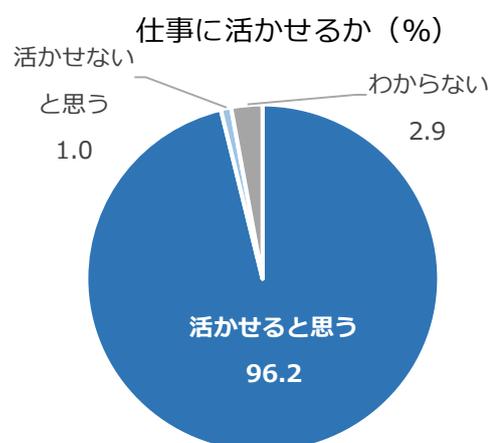
同様のご意見，多数

○「ふつう」「あまり良くない理由（一部抜粋）

- ・ 十分に検討（話し合う）する時間がない。
- ・ 声がききとりにくかった。もう少し時間があれば深められたと思った。

(3) 本日の研修内容はご自身の仕事に活かされますか？ (人)

活かせると思う	100
活かせないと思う	1
わからない	3



○活かせると思う理由（一部抜粋）

【日頃の備え】

- ・ 平時から考えておくことが必要だと思った（3）
- ・ 備品や衛生材料、医療品の備蓄を増やしたいと思った。

【多職種連携】

- ・ 多職種の話を聞くことができてよかった（5）
- ・ 地域での立ち位置の確認と連携について、今後活かしていきたいです。（2）

【BCP，自施設への共有伝達】

- ・ BCPに活用することができる（8）
- ・ 事業所でも想定してのグループワークをしたいと思います。
- ・ 全て必要なことです。自施設で他の職員にも伝達したいです。（3）

【その他】

- ・ リードしていく立場の人がどう動くか等考えさせられた
- ・ 街中に住んでいる人と、郊外に住んでいる人，各々どう備えておけばよいか，普段から患者さんにも情報提供できるのではないかと思います。
- ・ 災害時の対策について、常日頃の近所つきあい、地域づくりが対応力を向上させることができることも、地域に伝えていきたい。
- ・ 震災の経験からの日頃から注意しておいた方が良い点について理解を深めることができました。

○「活かせないと思う」「わからない」理由

- ・ 災害の種類や程度・状況など無限にパターンはあると思われるため
- ・ 活かしていければと思います
- ・ 組織として取り組みが重要かと思う。個人的には学びになったが。

(4) 本日の研修の感想や、ご意見等（自由記載）※一部抜粋

【多職種連携について（30）】

- ・ いつでもどこでも起こりうる災害に対して防災すること多職種連携の重要性について改めて考えられることができました。
- ・ 職種が変わると初動や課題に感じることも全く違うのだと分かり、大変勉強になりました。特に東日本大震災の経験を伺うことができ、起こりうる課題について解像度が高まりました。
- ・ 本日の研修で多職種の方々と話をできたこと、聞いたことが連携につながっていければと思いました。災害時のみならず、今後の医療と介護の連携は絶対的に必要なものだと思います。

【その他】

- ・ 災害対策について今一度考えなくてはと思いました。
- ・ “地域を守る”という事を考える事ができました。自分たちで何ができるかをもっと深めていきたい。
- ・ 薬の対応は確立したほうがいいと感じました（一週間分多く渡しておくとか何を飲んでいるかすぐわかるネットワークとか、マイナンバーカードなくてもわかるような…）
- ・ 薬の手帳へ災害時手帳の役目を与えられないか？必要な情報を記入→コピーで次の手帳へ伝達できればと思う。

【ご意見・ご要望】

- ・ 空調がなく寒かった。
- ・ 研修時間の検討をお願いしたい。
- ・ グループワークの時間が短かった。
- ・ テーマ：地震より洪水の方がよかったかも
- ・ 研修の時間をもっと早い時間にして欲しい。翌日も仕事なので。
- ・ 貴重な時間でしたが実際の仕事に活かすことを考えるのであれば講演の時間よりもグループワークの時間の方を長くした方がいいかと思います。

3 第2回目の災害をテーマにした研修会で検討したい、聞いてみたい内容 ※全意見

【本日の研修会の深堀】

- ・ 次回でも事業所の取り組み、各職種の役割確認 大崎市での防災包括ケアがまとまっていくことを望みます。
- ・ 今後出た課題をどう大崎市内で皆で解決していくか考えたい
- ・ より具体的に深めていきたい。
- ・ 今日のつづき
- ・ 今回のようにグループワークでより具体的な行動レベルの話し 意見交換ができると嬉しいです。
- ・ グループワークの時間を多くして課題の話しは大変必要と思った。

【BCP について】

- ・ BCP の相談をしていきたい
- ・ 実際に他でつくった BCP をみてみたい
- ・ BCP の活用について

【避難所について】

- ・ 福祉避難所について
- ・ 避難所での生活とはどんなか知りたい。医師や看護師はどんな支援ができるか考えたい。
- ・ 避難所での医療関係者の活躍とか。出先で避難所に行った時医療者として協力するのかなど

【情報発信, 電源について】

- ・ 情報を得る手段の構築等
- ・ 災害時, 被災状況等行政からの発信はどのようにされていくのか
- ・ 災害時の電源のとり方や、個人情報の扱い方など。
- ・ 電気がなくとも医療介護する訪問やポイント等を知りたい。発電器への補助はないのか？（個人宅や会社等）

【連携について】

- ・ 地域との連携（住民の方, 区長, 民生委員 etc）についても検討できると良いと思いました
- ・ 災害時に行政ができること、できないこと。（その時行政は！？）
- ・ 災害時の Hp 同志の連携をどのようにとっていけばよいか。
- ・ 各事業所間の連携について

【その他】

- ・ 個別避難計画について、実際にどのように運営されているのか興味がありお話を聞いてみました。
- ・ 3.11 の体験事例もとりあげ、これからに活用することで参加者と知恵と工夫を共有していける。
- ・ 3.11 の内陸と海側の対応に違いがあるか知りたい。薬の受付方法など対応がどこまでできるか知りたい。
- ・ 11/3 仙台であった, 災害の研修会で, 今年の能登の地震の実態, 避難所の話とかが参考になった。
- ・ 災害は今後日本においてもかなり重要となると思うので第二段～などシリーズ化してあるといいなあとと思いました。